**支援の基本的な考え方に基づくニーズ整理シート**

京都・記入の手引き

利用者：　　　　　　　　　　　記入者：

◇利用者のストレングス（強み、できること、持っているもの等）

|  |
| --- |
| 個人：・「望み」を念頭に個人因子（能力、性格、経験など）を記入する。　・事例の読み込みでは可能な限りメモし、記入時に取捨選択すると良い。 |
| 環境：・「望み」を念頭に環境因子（所有物、人、地理的環境など）を記入する。　・マイナス面はリフレイミング(視点の転換)をすると良い。例）口うるさい母親→心配してくれる母親 |

◇｢望み｣と｢現状｣の間にあるギャップを埋めるために｢必要なこと｣

２．現状（望みに対応する現在の状況）

・本人の「望み」で挙げた状況に対応した現在の状況を記入する。

・「望み」に対応した現状は必ずしも一側面ではないので、必要に応じて複数の要素を記入する。

例）旅行に行く。→　一緒に行く人がいる。

　　　　　　　　　　旅費がない。　など

・マイナス面だけではく、プラス面も含めて記入する。ストレングスを十分に意識する。

・経験の有無や認識の程度なども合わせて記入しておく。その際、根拠を（　　）書きで付記しておく。

ギ

ャ

ッ

プ

を

埋

め

る

た

め

に

ポイント！

｢1．○○がある｣→｢2．○○がない｣→｢3．○○を得る｣では何も整理されない。望みに到達するために必要なことを考える。

１．望み（本人の実現したい状況）

・本人が「実現したい」と思っている生活の状態を記入する。本人の意向を重視する。

・本人が何を望むかは自由なので、この段階では実現可能、不可能は判断しない。

・「一人暮らしをする」のようにおおまかにではなく、その内容を合わせて具体的に記入する。

・「望み」を導いた根拠を（　　）書きで付記しておく。　（発言）や（非言語行動）など

・支援者の見立ても重要なので合わせて記入し、（様子、支援者の見立て）等を付記しておく。

※）①本人の望み、②家族の意向、③支援者の見立てと区分して記入しても良い。

３．支援者として気になること

・「望み」と「現状」の間にあるギャップを埋めるために必要なこと、ものを記入する。

・本人の感じているニーズを大切にするが、支援者の見立ても合わせて記入する。その際、どちらの判断かを（　　）書きで明記しておく。

・本人（個人因子）の変化だけでなく、環境因子の変化（環境整備など）も考慮して記入する。